

Trellix OEMパートナーとの協業 - 横河電機との付加価値共創

プラントにおけるクラウド活用やスマートファクトリー化などの進展により、プラント内のOTシステムはインターネットや社内の情報系ネットワークに接続するようになり、同時にサイバー攻撃の脅威にさらされるようになってきています。プラントはかつてのように、サイバー攻撃が届かない領域ではなくなりました。ITシステム同様に、プラントで稼働するOTシステムにもセキュリティ対策が必要です。

しかしOTシステムではシステムが製品製造に最適化されているものが多く、OTシステム導入後にセキュリティ対策を独自に導入する場合には、互換性や可用性の観点で困難と危険が伴います。そのためTrellixではOTシステム製品を提供しているメーカーに向けて、Trellixのセキュリティ対策製品をOEMでご提供しています。

長年Trellixのパートナーである横河電機株式会社は、同社のプラント向け統合生産制御システムなどにTrellixのセキュリティ対策製品をOEMで導入するサービスを提供しています。Trellixのセキュリティ対策製品を同社製品に組み込んで提供することで、お客様は安心・安全な形でセキュリティが強化された製品を使用することができます。

プラント(OT)でセキュリティインシデントが起きれば、 操業だけではなく企業の信頼に甚大な被害が

プラントの各種システムがインターネットなどの外部ネットワークに接続されていないオフラインで稼働している、またはエアギャップがある状態で稼働していれば、サイバー攻撃は届きにくい環境となります。しかしクラウド活用やスマートファクトリー化によりプラントの各種システムがインターネットなどの外部ネットワークに接続されているオンラインになると、サイバー攻撃の脅威が高まります。

プラントにおけるセキュリティインシデントは増加傾向にあります。世界中でマルウェア感染を発端に、プラントの生産が減速または停止に追い込まれる事態が起きています。OTシステムは、ひとたびサイバー攻撃を受けると操業に直接影響を与え、被害は甚大になります。影響は事業だけではなく、企業そのものの信頼も失墜しかねません。

プラントにおけるセキュリティ対策導入の必要性とその課題

古今東西、プラントでは生産性向上が最重要ミッションです。製品を大量かつ高品質で生産することが求められているため、ハードウェアもソフトウェアも極限まで製品製造に最適化されています。そうしたなか、セキュリティ対策の導入はシステムへの負荷を増やすことになるため、敬遠されがちでした。特に後付けでセキュリティ対策ソフトウェアを導入するのは簡単ではありません。なぜなら多くの場合、セキュリティ製品のインストールだけでは終わらず、システムとセキュリティ製品の両方にチューニングや追加設定が必要になるからです。

この追加作業はシステムとセキュリティ製品の両方の知識が必要になるため、難易度が高く、同時にシステムへ悪影響を及ぼす可能性がある危険を伴う作業です。もし作業が適切に行われないと、システムのパフォーマンス低下や誤動作、最悪の場合にはシステムクラッシュなどの障害が生じる可能性もあります。

YOKOGAWA 
Co-innovating tomorrow™

Trellix は、グローバル企業の
セキュリティに優れたシステムの
構築・販売を支援するため、
世界中の OT システム向けの
組み込みセキュリティ対策製
品を提供しています



お客様の負荷は最大限省力化し、本業に注力いただき、安心・安全な運転を継続できるよう、お客様とともにセキュリティ対策を進めてまいります

- 横河電機

Trellix製品をOEMで組み込むことによる付加価値共創

OTシステムにおけるセキュリティ対策の課題解決として、Trellixではプラントに製品を提供しているメーカーに向けて、Trellixのセキュリティ対策製品をOEMで提供しています。

OEM活用のパートナーの例として横河電機が挙げられます。横河電機では同社の統合生産制御システムなどにTrellixのセキュリティ対策製品（OEM）を組み込んでサービスを提供しています。セキュリティ強化のためのソリューションの1つという位置づけです。セキュリティ強化に最適なソフトウェアの選定や検証は実施済みなので、品質も安全性も確認されています。

横河電機のセキュリティ対策導入サービスでは、横河電機が同社の統合生産制御システムにTrellixのセキュリティ製品を最適な形で組み込んで提供します。そのためお客様は難しい導入作業をする必要なく、セキュリティ強化を実現することができます。サイバー攻撃の脅威から統合生産制御システムを保護できるため、プラントの操業や事業に安全性と安定性をもたらすことができます。

Trellixと横河電機のパートナーシップは長きに渡ります。はじめは2013年1月、プラントの制御システムに包括的かつ高付加価値のITセキュリティソリューションを提供するためにパートナーシップ契約を締結しました。ここからTrellixのセキュリティ製品OEM化の準備を共同で進め、2014年からOEM提供が始まりました。OEM提供実績は年々増加しています。両社は知見を共有し、互いに補完しながら技術を高め、価値を共創しています。

横河電機はパートナーにTrellixを選んだ理由として、セキュリティ製品の優れた機能とパフォーマンスだけではなく、グローバルに製品を展開している実績や充実したサポート体制も挙げています。横河電機のお客様は日本国外が半分以上を占めます。日本に比べて海外のプラントではサイバー攻撃の危機感が高いため、グローバルに通じる技術力やサポート力は欠かせませんでした。

横河電機は「お客様にはセキュリティ対策は最大限省力化して、本業の製造にご注力いただきたいと考えています。個々の機器のセキュリティ対策だけではなく、システム全体のセキュリティ対策を最適化することで、お客様のプラントが安心、安全な運転を継続できるようにお客様とともにセキュリティ対策を進めてまいります」と話します。

*2022年にOEM製品のブランドを「McAfee」から「Trellix」に変更いたしました。